

平成 30 年 6 月 29 日

保護者様

横浜市立岸谷小学校
校長 大島 宏二

本校における横浜市学力・学習状況調査の結果分析及び課題、改善の手立て
～平成 29 年度横浜市学力・学習状況調査結果より～

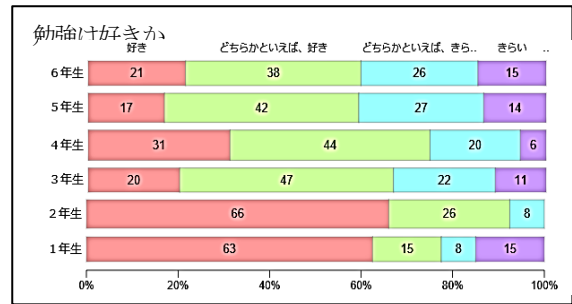
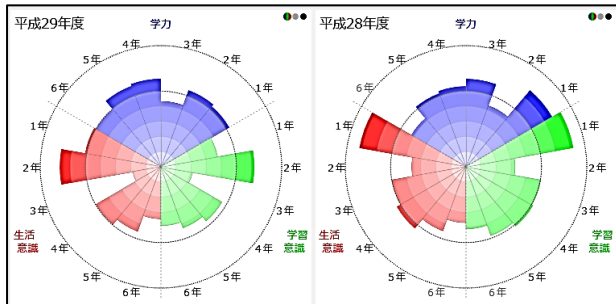
□成果 学習事項の定着・学力の向上

■課題 学習意識の低下・主体的、対話的で深い学びに向けて

横浜市学力・学習状況調査は児童の学習状況について分析的、統合的に把握することで、教科指導や学習評価の工夫改善、教育活動に生かすとともに、児童の学力向上のための学習改善に生かすことを目的に実施されています。昨年度（平成 30 年 2 月実施）の結果から本校の学習状況と今後の取組についてお知らせいたします。

1 調査結果

(1) 学力・学習意識・生活意識分析チャート



(2) 各教科平均正答率

	1年 (現2年)	2年 (現3年)	3年 (現4年)	4年 (現5年)	5年 (現6年)	6年 (現中1)
国語	67	61	58	55	70	63
	68	64	59	55	65	66
算数	63	57	59	59	56	58
	60	59	61	56	58	62
社会			65	76	77	78
			68	75	76	78
理科			57	65	58	60
			61	62	60	64

(※上段：本校平均正答率 下段：横浜市平均正答率 網掛けは市平均を上回る)

2 調査結果の分析

(1) 本校の傾向

学力・学習意識・生活意識分析チャートから、学力について市平均との比較では前年度と同等と言えますが、学習意識、生活意識が低下傾向にあります。各学年各教科の基礎問題・活用問題の平均正答率についても、市平均正答率より上回る学年、教科が昨年度と比較してやや減少しています。

(2)各学年の状況

1年（現2年）

	よい状況と考えられる点	改善が必要とされる点
国語	<ul style="list-style-type: none"> 話し手が話す事柄の順序を意識しながら聞き取る。 句点の打ち方を理解して、文の中で正しく使う。 事柄の順序に沿って書く。 文章の中の大事な言葉や文を書き抜く。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し手が知らせたいと思っていることについて聞き取り、質問する。 語と語の続き方に注意しながら、つながりのある文を書く。 場面の様子について、登場人物の行動や会話を中心に、想像を広げながら読む。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 繰り上がりのある加法、繰り下がりのある減法、3口の数の加減混合計算。 まとまりに着目しながら、数を数えて表す。 数直線の特徴を理解し、2ずつ増える数分かる。 1つの数を分解し、その構成を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ものの集まりを分類整理し、数量の多少などの特徴を読み取る。 十進位取り記数法の原理を理解し、2位数の表し方を考える。 間接比較、任意単位による測定のそれぞれのよさについて考え、正しく判断する。
<p>【学年としての取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 勉強が好き、どちらかといえば好きと回答した児童が市平均に比べて少ない。嫌いと回答した児童は正答率が低い傾向になった。学習意欲を高める授業を工夫していきたい。 順序に気を付けて読んだり書いたり話したりしていると答えた児童は、正答率が高かった。授業や普段の生活の中でも順序に気を付けるなど、生活と結び付ける指導をしていく。 朝食を食べていない児童の正答率が低かった。生活習慣の見直しを呼び掛けていきたい。 		

2年（現3年）

	よい状況と考えられる点	改善が必要とされる点
国語	<ul style="list-style-type: none"> かぎ（「」）の使い方を理解して文章の中で使う。 時間的な順序や事柄の順序などに気を付けて文章を読む。 場面の様子について、登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読む。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し手が伝えたいことについて聞き取り、感想を述べる。 語と語や文と文の続き方に注意しながら、つながりのある文章を書く。 登場人物の行動に気を付けて読む。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ものさしを用いて線分の長さを正確に測定し、普遍単位を用いて長さを比較する。 乗法について成り立つ分配法則が分かる。 1つ分×いくつ分で表された乗法の式に合う具体的な場面が分かる。 一つの数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> $(3 \text{ 位数}) - (2 \text{ 位数}) = (2 \text{ 位数})$ で、波及的に繰り下がりのある減法計算、$(1 \text{ 位数}) \times (1 \text{ 位数})$ の乗法計算。 単位をそろえて、長さの加減計算をし、条件に合った図形を選ぶ。 日常場面における問題を、加法と減法の考えを活用し、多面的に判断する。
<p>【学年としての取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本的な学びは定着傾向にあるが、既習を適用して課題解決をしていくことに課題があるので、考える力を伸ばす学習をしていく。 授業が分かると答えている児童の正答率が高い。学習内容の定着状況を確認しながら授業を進めていく。 		

3年（現4年）

	よい状況と考えられる点	改善が必要とされる点
国語	<ul style="list-style-type: none"> 修飾と被修飾の係り受けが分かる。 配当漢字を文の中で正しく読む。 登場人物の行動や会話から登場人物の性格をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 辞書を利用して語句を調べる方法が分かる。 目的に応じて、事例を挙げて書く。 書いた文章を読み返し、よりよい表現に書き直す。
算数	<ul style="list-style-type: none"> $(3 \text{ 位数}) \times (1 \text{ 位数})$ の計算。 コンパスを用いて、円の作図。 数直線上の目盛りが表す数を小数、分数の2つの数で表せることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単位分数のいくつ分という見方の理解ができる。また、基準とする大きさを1とする見方。 同じ大きさの円の半径の長さは、等しいということに着目して、三角形の特徴を論理的に考える。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料から、Fスーパーマーケットの肉の売り方について読み取る 	<ul style="list-style-type: none"> 商品の品質管理に関する仕事から、消費者が安心して買えるようにしているFスーパーマーケットの取組について考える。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 昆虫の体のつくりを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 電気の回路についての考えを、ものづくりに生かす。

<p>【学年としての取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強が好きと答える児童が増えてきている。各教科の勉強が大切であり、勉強が役に立つと考えている児童は、正答率が高く学習の定着がうかがえる。一方、勉強が分かる、授業中に説明しようと意識している児童が減っている。学習意欲を高めつつ、学習内容の定着を図りたい。 ・読書量が高い児童、朝食を食べている児童、一生懸命取り組んでいることやものごとを最後までやり遂げてうれしいと感じたことがある児童は、正答率が高い傾向にある。一方、市に比べて、読書量や運動量が少ない児童が多く見られる。生活習慣の見直しも図りたい。
--

4年（現5年）

	よい状況と考えられる点	改善が必要とされる点
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字辞典を利用して語句を調べる方法が分かる。 ・言葉には、かなで書くと同じでも、いろいろな意味をもつものがあることが分かる。 ・目的に応じて、必要な事柄を調べるために適切な方法を選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの目的に沿って意見を言う。 ・配当漢字を文の中で正しく書く。 ・目的や必要に応じて文章を読み、要約する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・単位正方形の個数を数えることで、面積を数値化して比べられることが分かる。 ・四捨五入を用いた概数の求め方が分かる。 ・折れ線グラフを見て、数の増減の大きさやその場面が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し、表した式が分かる。 ・平行四辺形の性質に基づいた作図の仕方が分かる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・まちを守る消防団員の役割を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源物とごみの出し方を理解している。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・火を使った実験を安全に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水の力の変化を調べるとき、筒の中の水を完全に取り除きしっかり支えて行うことを理解して実験ができる。

<p>【学年としての取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強を「大切」「普段の生活に役立つ」と考えている児童が市の平均よりも多く、学習内容の定着も図られている。日常に活用するなど有用感を得られる学習をしていきたい。 ・自分の考えを進んで説明することに対し、課題を感じている児童がやや多い。話し合いの目的に沿って意見を言う経験を積み重ね、自信をもたせていきたい。

5年（現6年）

	よい状況と考えられる点	改善が必要とされる点
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・事物のよさが明確に伝わるように話す。 ・文章の中で語句と語句の関係を理解する。 ・自分の課題を解決するために、適切な資料を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の推薦した理由について聞き、取り上げられた事物のよさについて自分の考えをまとめる。 ・登場人物の心情を行動やその前後の情景描写と関係付けて捉える。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・合同な三角形をかく。 ・面と面のつながりを考え、直方体の展開図をかく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる2つの数量関係を図や表から読み取り、考え方を汎用させて、場面が変わっても適用する。 ・日常の場面において、公約数の考え方を使って、問題を効率良く解決する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を提供する放送局や新聞社の様子を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Aさんの田 10 aあたりの米の収量の変化について読み取る。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・電磁石の性質を他の事象に当てはめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・植物、動物の育ち方の共通点を考察する。

<p>【学年としての取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科の学習においては、その教科で大切な見方・考え方を働かせた活動を通し、表現や判断、思考する力を身に付けられるようにする。 ・算数では多面的に捉えていくことや、社会では社会的事象を捉えていくこと、理科では観察・実験を通し根拠を明確にして考察していくことなどの学習を進めていきたい。
--

6年（現中1）

	よい状況と考えられる点	改善が必要とされる点
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・日常使われる敬語の使い方が分かる。 ・物語の題材を強く意識させる優れた叙述に着目しながら読み、自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて自分の考えを詳しく書く。 ・伝記に描かれた人物の生き方と自分の経験や考えなどとの共通点や相違点を見付け、自分の考えをまとめる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・比例関係に着目した数直線をもとに、それらの数量関係を□を使った式で表す。 ・速さについて、分速の意味を理解し、時間の単位が変わっても速さから道のりをもとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大図・縮図を使って、問題を解決するためには、どの条件が必要かを正しく判断する。 ・分数のわり算で、なぜ除数に逆数をかけると答えが求められるのかを、計算のきまりをもとに考える。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・現代につながる室町文化について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から開港後の米と塩の価格の変化について、読み取る。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・血液は心臓の働きで体内を巡り、酸素を運んでいることを体温と結び付けて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験計画と予想を照らし合わせて推論し、自分の考えを表現する。
<p>【学年としての取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考はできるが、表現する力や相手に伝わりやすくまとめる力が十分身に付いてはいない。対話的な学びの中で力を身に付けていく。 ・書いてまとめることから、互いに読み合いをする学習や、一方的に話す、説明することから対話をする学習にしていく必要がある。 		

3 今後の取組

(1) 校内での学力向上の取組

ア 基礎的・基本的な学習事項の定着を図る取組

- ・朝のスキル読書タイムの取組を継続して、基礎的・基本的な学習事項の定着を図ります。
- ・算数での少人数指導を3学年～6学年までと学年を増やし、岸谷SR（スタディールーム）ではグループ学習を行い、よりきめ細やかに個に応じた指導をしていきます。

イ 主体的、対話的で深い学びを通して資質・能力を身に付ける取組

- ・日常の場面と関連付けながら、一人ひとりの気付きや疑問から課題を引き出し、これまでの学習を活かして主体的に課題解決していく学習としていきます。
- ・具体的な操作、図や表、式、言葉を用いて表現し合う中で、対話的に考えを深められる学習としていきます。



(2) 家庭との連携

ア 家庭学習の習慣化

- ・国語、算数を基本とした家庭学習

学年に応じて宿題の量は異なりますが、短時間でも机に向かう習慣や、学年相応の学習の習慣が身に付けられるよう支援を行います。

イ 学習への取組についての共有

懇談会や個人面談、学級通信等で家庭での学習についても話題にし、学校と家庭における学習への取り組みの様子を共有していきます。

学力向上をめざしていく上で、規則正しい健康な生活習慣は欠かせません。ご家庭におかれましても、次の点についてお子様とお話いただきながら、よりよい生活習慣が身に付けられるようご協力いただきたいと思います。

- 朝食を毎日食べる。（1日元気に過ごすためのスタートは朝食にあります）
- 早寝、早起きをする。（規則正しい生活が規範を尊ぶ心情を育てます）
- 家族といろいろな会話をする。（楽しい会話で豊かな心を育みます）
- 宿題を毎日する。（学習の習慣化を図ります）